



平成20年度

# 21世紀・新しい時代の 健康教育推進学校表彰

## 最優秀校紹介



自由参観日：薬物乱用防止(喫煙防止)

### 生命尊重を基盤とした 薬物乱用防止教育と学校保健活動の推進

～学校・家庭・地域・他機関等との連携を生かした健康教育～

岩手県雫石町立南畑小学校

薬物乱用防止教育をはじめとする健康教育の推進により、児童の自尊感情・自己肯定感の向上が見られました。また、学校保健委員会の円滑な運営と積極的な協力・他機関等との連携がより教育活動・保健活動を充実させてくれました。

### みんなの健康、みんなでつくろう！

～「認め合い 励まし合い 高め合い」の  
三つのあい(愛)の風が吹く学校～  
群馬県高崎市立大類小学校

地域福祉協力校や地域の教育力有効活用モデル校などの経験を生かし、地域に根ざした健康教育を推進しています。年5回の学校保健委員会では、寸劇やエンカウンターを取り入れ、気づきや体感を重視した学びを展開しています。



### 生命かがやく砂取っ子の育成

熊本県熊本市立砂取小学校

本校の健康教育は、「自ら健康をつくりだす子ども」の育成を目指してきました。「すこやか会」(学校保健委員会)や「すなとりノート」「健康家族新聞」などを通して、生き生きと輝く子どもたちを育てています。

### “わたし”大好き “仲間”大好き “音中”大好き

～健康を推進する「力」をつけ「心」を育てる～  
愛知県豊川市立音羽中学校

校訓「大志・最善・忍耐」のもと、教育目標「力をつける」「心を育てる」を柱に教育活動に取り組んでいます。その一つとして、全ての教職員が自分の校務分掌や教科等の中に健康を機能させ、生徒の笑顔あふれる学校をめざしています。



## 生徒の心に伝える健康教育の推進

～生徒保健委員会活動をはじめとした

組織的な取組と継続～

大阪府立貝塚高等学校

食生活調査と食生活改善への取組が3年目を迎えた生徒保健委員会活動、学年ごとの集団指導、学校医を中心とした個別指導等、課題解決に向けての健康教育を行っています。今後も、生徒の心に伝えられる実践をしたいと思います。



この学校表彰の最優秀校・優秀校の実践は「21世紀・新しい時代の健康教育推進学校の実践 ―第7集―」として本会より発行(3月予定)します。ご活用ください。

## 審査を終えて

審査委員会小委員長

吉田 瑩一郎 (日本体育大学名誉教授)



今回で7回目の審査を終えたことになるが、本年度の審査対象校は、小学校58校、中学校26校、高等学校5校、特別支援学校2校の計91校で、昨年度の88校を上回る過去最高を記録した。しかし、推薦の

なかった県と政令指定都市が少なくなかったことから、推薦母体である関係学校保健会の積極的な対応を強く望むものである。

ところで審査は、実施要項に従い書類による1次審査と学校訪問による2次審査によって、優良校、優秀校、最優秀校及び協賛社賞(奨励校)を選考した。

最優秀校には、小学校が大・中・小の規模別に各1校、中学校と高等学校は各1校の計5校が選ばれた。また、優秀校は、全体として10校でその中には特別支援学校1校が含まれている。

審査を通して感じたことの一つ目は、改正教育基本法に教育の目標が明示されたこともあって、以前にも増して「～人間尊重の精神に徹し、徳・知・体の調和と統一のある心身ともに健全で実践力のある児童の育成」(岩手県雫石町立南畑小)といったような「知・徳・体の調和」を学校教育目標に掲げ、健康な学校づくりを推進する学校が目についたことである。したがって、南畑小学校の場合、薬物乱用防止、性教育、歯・口の健康づくり、食育、体力づくり、早寝早起き朝ごはんなどといった健康教育のほか、すでに平成19年度から「学びを活用する子どもの育成」を目指した算数科の学習指導の研究にも取り組んでいるのである。

二つ目は、学校保健委員会についてである。高崎市大類小学校では年間5回開催し、平成16年度からそのうち1回を「大類中学校区地域学校保健委員会」とし、中学校を中心に小学校4校が合同で開催しているのだという。ちなみに平成9年度の議題は「自分の気持ちを伝え合おう」というコミュニケーション能力、すなわち人々の健康に関する問題を取り上げている。かつて、最優秀校となった岩手県二戸市の金田一小学校(平成15年度)と金田一中学校(平成18年度)の「小・中合同学校保健委員会」を想起させられるのであるが、大類中学校区における無理のないごく自然な形での継続的な実践に敬意を表したい。

三つ目は、学校医、学校歯科医、学校薬剤師の活動に寄せる期待は大きいのであるが、学校側に遠慮があるためか出校回数がそれほど多くないというのが実情であろう。大阪府立貝塚高校の場合、年間の出校回数が学校医(内科)21回、学校歯科医10回、学校薬剤師27回といったように、審査対象校の中では群を抜いて多いのである。その根源は、「学校保健計画立案」の段階から主体的に参画していただいていることにあるのでは、とのことであった。新年度に向けて参考になりそうな貝塚高校の実践である。

熊本県熊本市立砂取小学校と愛知県豊川市立音羽中学校のお手本のような学校保健計画・学校安全計画に触れることができなかったが、学校保健及び学校安全の総合的な基本計画として「全体計画」と「年間計画」の充実が望まれていることにくれぐれも留意したいものである。

今後の継続と更なる発展を期待

健康で生きていく力の育成のために

平成20年度 健康教育推進学校表彰校

最優秀校 5校

- 岩手県 雫石町立南畑小学校
群馬県 高崎市立大類小学校
熊本県 熊本市立砂取小学校
愛知県 豊川市立音羽中学校
大阪府 大阪府立貝塚高等学校

優秀校 10校

- 群馬県 前橋市立荒牧小学校
埼玉県 川口市立新郷小学校
鳥取県 鳥取市立福部小学校
山口県 岩国市立神東小学校
栃木県 日光市立猪倉小学校
栃木県 真岡市立真岡西中学校
富山県 射水市立奈古中学校
熊本県 熊本市立藤園中学校
青森県 青森県立八戸商業高等学校
東京都 東京都立小金井特別支援学校

奨励校 3校

- 長崎県 壱岐市立石田小学校
鹿児島県 徳之島町立亀徳小学校
香川県 東かがわ市立大川中学校

優良校 73校

- 岩手県 二戸市立仁左平小学校
宮城県 仙台市立上愛子小学校
宮城県 東松島市立赤井小学校
山形県 寒河江市立寒河江小学校
山形県 飯豊町立第二小学校
山形県 酒田市立中平田小学校
福島県 川俣町立山木屋小学校
福島県 湯川村立勝常小学校

- 福島県 郡山市立田母神小学校
茨城県 大洗町立夏海小学校
茨城県 日立市立大沼小学校
茨城県 古河市立西牛谷小学校
群馬県 中之条町立沢田小学校
千葉県 南房総市立南小学校
東京都 多摩市立北貝取小学校
東京都 八王子市立城山小学校
東京都 中央区立月島第二小学校
神奈川県 横浜市立間門小学校
富山県 魚津市立大町小学校
富山県 富山市立速星小学校
長野県 諏訪市立湖南小学校
静岡県 磐田市立豊岡東小学校
愛知県 岩倉市立岩倉南小学校
愛知県 豊田市立童子山小学校
三重県 津市立南が丘小学校
京都府 福知山市立遷喬小学校
京都府 舞鶴市立三笠小学校
大阪府 門真市立門真小学校
大阪府 寝屋川市立国松緑丘小学校
兵庫県 たつの市立東栗栖小学校
岡山県 岡山市立開成小学校
岡山県 赤磐市立城南小学校
広島県 東広島市立小谷小学校
広島県 東広島市立久芳小学校
広島県 安芸太田町立上殿小学校
山口県 萩市立福川小学校
香川県 東かがわ市立相生小学校
福岡県 春日市立春日小学校

- 佐賀県 鳥栖市立若葉小学校
佐賀県 吉野ヶ里町立三田川小学校
佐賀県 太良町立大浦小学校
長崎県 時津町立時津北小学校
長崎県 長崎市立飽浦小学校
熊本県 美里町立中央小学校
大分県 豊後大野市立三重東小学校
名古屋市 名古屋市立西前田小学校
神戸市 神戸市立西脇小学校
さいたま市 さいたま市立岸町小学校
青森県 平川市立碓ヶ関中学校
宮城県 東松島市立鳴瀬第二中学校
埼玉県 久喜市立太東中学校
埼玉県 川口市立領家中学校
千葉県 市川市立第六中学校
千葉県 柏市立柏第五中学校
東京都 足立区立第一中学校
神奈川県 厚木市立森の里中学校
石川県 能美市立辰口中学校
石川県 金沢市立内川中学校
石川県 七尾市立北嶺中学校
福井県 越前市武生第二中学校
岐阜県 瑞浪市立瑞浪中学校
静岡県 富士宮市立富士宮第三中学校
兵庫県 西宮市立鳴尾中学校
奈良県 上牧町立上牧第二中学校
和歌山県 和歌山市立西脇中学校
岡山県 津山市立久米中学校
京都市 京都市立神川中学校
さいたま市 さいたま市立田島中学校
山口県 山口県立下関中等教育学校
福井県 福井県立武生工業高等学校
静岡県 静岡県立伊東商業高等学校
滋賀県 滋賀県立能登川高等学校
京都市 京都市立桃陽総合支援学校

平成21年度全国及び各地区ブロック大会日程予定 (平成21年12月まで)

Table with 3 columns: Date, Event Name, and Location. Rows include dates from 4月23日 to 11月19日 and events like '全国学校保健会事務担当者連絡会' and '第60回指定都市学校保健協議会'.

**旅先** でふと目にした光景から、安全のルールを考えることがある。以下は、ロンドン市内の公園で目撃したことである。

公園都市という言葉があれば、ロンドン市内はまさに公園で溢れている。写真の公園は、ロンドン市内の北に位置するヴィクトリア・パークである。10カ所もある壮大なローヤル・パーク(王立公園)の規模はないが、日本の都市の公園と比べればごく立派な公園である。緑あふれる変化に富む美しい樹木のレイアウトと、広々とした芝生のスペースは心を癒す市民の憩いの場である。スポーツ施設も完備されている。

**コー** トを着て地面を指しているのは筆者である。指先の地面には木製チップが敷き詰められて、柔らかいクッションになっている。転倒・転落しても大丈夫である。日本では砂が流されて、遊具の基礎のコンクリート部分がむき出しに放置されていることが多い。実はここは子どもの遊び場のスペースである。公園の外周の柵の中に、



関西福祉科学大学教授  
神戸大学名誉教授  
大阪教育大学客員教授  
教育学博士

南  
哲

## 公園内の子ども遊び場は大人で一杯!

更に二重に柵で囲われて隔離され保護されている。その上11歳以下の子どもが利用するべしと掲示されている。ところが写真の左奥を見て頂きたい。小さい子どもが隠れて見えず、大人ばかりが遊んでいる様に見える。一見、大人が占拠しているのではないかと思った。実際は保護者と子どもが離れずに、子どもを見守りながら遊ばせているのである。大切なわが子と一時も離れては行かないという意気込みが伝わってきたのである。日本なら公園に行って遊んで来なさいとか、保護者同士が近くでお茶でも飲んでいるに違いない。人から見えにくい場所だけで事件は起こらない。事件は常に常識や思い込みを超えたところで起きている。ロンドンの公園で見た保護者の注意義務履行の実態は、治安にやや

陰りの見えた今の日本で見習うべき緊急課題であると思われる。



(1ページつづき)

### Q & A 学校欠席者情報収集システム

回答：国立感染症研究所感染症情報センター  
センター長 岡部信彦氏

#### Q. 学校にとっては、どんな役に立ちますか？

**A.** まずは、学校での流行の広がり止めるといことです。毎日入力した情報はその学校の資料になりますし、推移を見て通常でなければ病名が確定する前でも学級・学校閉鎖を実施する判断材料、保護者や地域への説明材料にもなります。このシステムは市区町村の教育委員会単位での活用を目指しています。学校にとっては、地域の周辺状況を把握することで、自校だけの状況なのか地域的なものなのかという判断にもつながります。例えば、下痢や嘔吐の欠席が増えた場合、その学校が給食センター方式ならば同じ給食の地域の状況をみることで、給食での食中毒かどうかの判断材料になります。その他の地域も同症状の欠席者数が増えていれば、感染性胃腸炎(ノロウイルスなど)の流行の可能性などがあるということです。まだ自校で欠席者数が増えていない場合でも、手洗いの奨励や消毒、学級閉鎖など事前の予防措置をとる根拠にもなります。

#### Q. 学校の負担についてはいかがでしょうか？

**A.** 日々の入力で数分程度の作業をしていただくこととなりますが、その分、自校データのグラフ化や保存ができ、データの蓄積は今後の参考にもなりますので、保健指導・管理に役立たせられます。

#### Q. どんな感染症に有効でしょうか？

**A.** 通常のインフルエンザをはじめ麻疹や感染性胃腸炎などよくある感染症のほかにも新型インフルエンザやバイオテロにも役立ちます。

#### Q. 今後の期待は？

**A.** 子どもの行動は家庭・地域とつながっていますので、学校の早期対応は地域の流行抑制にもなります。学校医や保健所、医療機関と情報を共有することで感染症の早期検知が出来るようになります。いずれにしても学校の協力があって可能となることです。新型インフルエンザは新型とわかって発生するわけではなく、インフルエンザ様の症状から始まり、ある特徴が現れて病気の究明につながると考えられています。

学校にとって子どもたちを守るためのメリットは、社会全体にとっても大きなメリットへつながります。

## シリーズ 17

## 「健康教育をささえる」～学校医の現場から～

## 専門医としての産婦人科医との連携

東京産婦人科医会常務理事  
東京都医師会・学校医委員会委員  
東クリニック 院長

東 哲 徳

## 東京都における取組から

学校医制度が発足して以来既に100年余が経過したが、その制度には教育上有意義不可欠なものが数多くあり、現在もその存在価値は変わらない。しかし近年、リストカット、不登校、望まない妊娠、性感染症などの増加と、心の問題で精神科や産婦人科との連携を必要とする事例が増加している。若年者の性感染症は先進7カ国において、唯一日本だけが増加傾向にある。これらの問題は現在の学校医や養護教諭による指導範囲の限界を超えており、それぞれの専門家の指導援助が求められている。

産婦人科医は思春期の健康問題をトータルに捉え、若年者の性行動に至る精神過程を把握し、性行動を詳細に理解することが要求されている。今こそが学校現場の要求に応えられるような体制を整える時期と思われる。

東京産婦人科医会は、学校教育現場、東京都医師会、行政の協力によって、性教育を含む思春期教育をサポートできるシステムを立案してきた。まず都立高校生を対象として、性教育を含む思春期健康相談の計画と実施に関し検討を重ね、平成14年に組織内に学校医検討委員会を発足させ、平成15年度から東京都医師会と東京都教育庁の協力のもとに「思春期健康相談モデル事業」を立ち上げた。平成18年度からは文科省が東京都に委託した「専門医による学校保健活動支援事業」をサポートし、生徒、教職員、保護者に対する講話会、事例研究会、個別相談などを実施している。

## 1. 講話会

対象高校における実施項目には生徒に対する講話会があるが、教職員と保護者にもその内容を事前に知らせ、それぞれの立場から意見の交換、希望事項の検討を行い、講和会後にはそれぞれアンケートを実施した。講話会には校長、副校長、養護教諭、東京都教育庁学校健康推進課担当者が出席し、講話会後には反省点の検討、今後の望ましき有り方について話し合いがなされた。

## 2. 講話会の内容

## 1) 生命と性の関連性

- 2) 思春期の性意識と性行動
- 3) 男性、女性の身体的変化
- 4) 親になるということ
- 5) 性と情報化社会
- 6) 援助交際（インターネットの出会い系を含む）
- 7) 性感染症
- 8) 望まない妊娠
- 9) 若年妊娠によるリスク
- 10) ビルとコンドーム
- 11) 喫煙

## 3. 教諭のアンケートの結果

- 1) 講話内容は役立つと思うか
  - ・大変役に立つ……………86%
  - ・まあまあ役に立つ……………14%

内容の有効性に関しては、ほとんどの教諭がその意義を認めていた。

- 2) 高校生に思春期教育（性教育を含む）は必要か
  - ・必要だと思う……………86%
  - ・必要だと思わない……………14%

という結果で、大部分の教諭がその必要性を認めている。だが、一部に「強制には問題がある」と述べた教諭もいた。

## 4. 高校生のアンケート結果

講話に関するアンケート結果

- 1) 講話内容について
  - (男子生徒)
    - ・大変良かった……………30.1%
    - ・まあまあ良かった……………62.3%
    - ・良くなかった……………7.6%
  - (女子生徒)
    - ・大変良かった……………26.6%
    - ・まあまあ良かった……………70.3%
    - ・良くなかった……………3.1%

ほとんどの生徒は講話内容に関しては肯定的であった。講話内容が理解される事は極めて重要な事であるが、アンケート結果は90%近くが理解可能であったこ

とを示している。対象学年の生徒によっては、提示した図や写真に対して不快感を表した生徒がいた。

2) 講話内容は将来役に立つと思うか

(男子生徒)

- ・大変役に立つと思う ……32.9%
- ・まあまあ役に立つ ……58.2%
- ・あまり役に立たない ……8.9%

(女子生徒)

- ・大変役に立つ ……28.1%
- ・まあまあ役に立つ ……61.9%
- ・あまり役に立たない ……10.0%

3) 「高校生に思春期教育(性教育)は必要だと思うか」

- ・必要だと思う ……72.0%
- ・必要ない ……20.0%
- ・分からない ……5.0%
- ・無記入 ……3.0%

であった。多くの生徒がその必要性を認めていることは看過できないことである。

## 5. 保護者のアンケート結果

1) 講話の内容については

- ・大変良かった ……89.0%
- ・まあまあ良かった ……11.0%
- ・役に立たない ……0.0%

とすべての保護者が肯定的であった。

教育庁はスライドが学習指導要領に準じたものである事を強調し、生徒に自己否定感や、セクシャリティに対する嫌悪感を抱かせる傾向にはならない点を強調している。また学習済みの内容に関してはその展開に重複を避ける事、データに関しては新しいものを使用し合理性を持つべきであるとしている。性交をしないということの強調を基本におくべきであるとし、性交に関する具体的方法について示す必要はないとしている。ピル、コンドームに関しては、その有効性は認めるも服用、装着等の具体的な提示は不必要であるとしている。医療や保健衛生関係者から、エイズ・性感染症予防や望まない妊娠・人工妊娠中絶の防止を理由に、学校教育にリスクを回避するためコンドーム装着指導を求める声もあるが、学校は児童・生徒の「人格の完成」を目的とした教育機関であるということを十分に踏まえる必要があるとしている。

この時期に特筆すべき点はセクシャリティの自己認識と自己表現であろう。問題はセクシャリティに関する自己抑制の逸脱であり、その結果として性感染症や望まない妊娠として帰結するところにある。性教育に関する指導は種々存在するが、価値観が多様化した現社会においては生徒、教師、保護者のいずれにも納得されるものは少ない。東京産婦人科医会と東京都医師会は混沌とした性教育のあり方に関し一石を投じる方法として、学校現場との連携を計画している。行政のサポートもあり実行段階となってきたが、その方法と実施に関しては必ずしも100パーセント三者が一致しているわけではない。しかし増加傾向にある若年者の性感染症や望まない妊娠の現実を直視し、教育と臨床医学の共有範囲を検討し、早々に有効ある対策と実施を望みたい。

## おわりに

各々講話会で用いられた教材としてのスライドは東京産婦人科医会学校保健部で検討されたものであるが、提示した図や写真に関しては賛否両論があった。特に

超小型・超軽量・高性能な

**New**

## 普通騒音計NL-27

等価騒音レベルで・学校環境衛生・環境調査



適合規格：計量法、JIS、IEC適合  
測定機能：等価騒音、騒音レベル、最大値、他  
記憶データ：199個  
USB通信：コンピュータへの転送可能  
大 き さ：約120×63×23.5mm  
重 さ：電池含んで約105g  
価 格：¥146,000(検定付、税別)

室内空気環境モニタ

**New**

## マルチ機能付CO<sub>2</sub>モニター

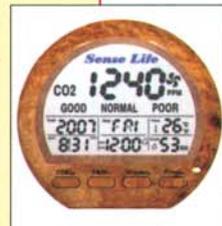
表示機能：

- ・CO<sub>2</sub>濃度(0~9999ppm) good/normal/poor表示・アラーム設定
- ・温度(-40~50℃)
- ・湿度(30~80%) ・カレンダー
- ・現在の時刻

大 き さ：

115(W)×108(H)×63(D)mm

電源：ACアダプタ 価格：¥27,500(税別)



〒090-0022 東京都立川市錦町1丁目23番地1号

**リオンテック 株式会社**

Tel. 042-523-6901 Fax. 042-523-6903

# 平成20年度 特集 子どもの健康と体力Ⅳ

## 走って、遊んで、いい汗かいて 親子で考えよう「子どもの健康と体力」

— 市民公開講座を開催 —

場 所：東京都中野区立武蔵台小学校  
日 時：平成20年11月30日(日)  
協 賛：日本教育シューズ協議会  
協 力：大塚製薬株式会社、花王株式会社  
後 援：中野区教育委員会、中野区医師会

今年度、本誌では、「子どもの健康と体力」を年間テーマに、各号で関連記事を掲載してきました。その最後を締めくくる企画として、子どもたちに元気いっぱい外遊びをしてもらおうとイベントを開催しました。保護者にはいまの子どもの体力を実感してもらえればという意図からでしたが…



午後1時30分、受付開始と同時に児童や幼児、それに保護者が東京・中野区立武蔵台小学校(櫻井茂校長)の校庭に集まってきました。その中には芝生の校庭が初めてで早速感触を確かめる子どもや大人の姿もあります。

午後2時に開会、そしてまず「鬼ごっこ」の開始です。鬼役は特別講師の勅使川原郁恵さんをはじめ養護教諭を目指す学生たちで、逃げる子どもたちは腰に中野区で盛んなフラッグフットボールのフラッグを巻いています。鬼にフラッグを捕られたらクイズ席でクイズに正解しなければなりません。クイズ席では本誌の編集委員の先生が待ち構えていて、問題を出します。「ハミガキに使うものはなんですか?」「ハブラシ!」



答えた幼児がまた校庭へ戻っていききました。

後半は校庭を○側と×側にわけた「健康○×クイズ」。健康の知識をつけてもらおうと、正解の解説つきです。「問題、アレルギーは人にはうつらない」



大人も子どもも顔を見合わせて○側へぞろぞろ、これはさすがですね。

「次は日本学校保健会サーベイランス調査結果からの問題です。小学校5・6年生から高校生まで、就寝時刻が遅いのは男子のほうである」

これも○側へぞろぞろ、正解は×。こんな学校保健会ならではの問題も用意しました。

当日は子どもたち約140人、大人50人に参加していただきました。他の地区から来た人たちも多く、みんな元気な子どもたちばかり、手伝ってもらった学生たちは大学の実習で学校へ行くと、保健室に来る子どもたちの対応に精一杯で、元気な子どもたちとふれあうまでには余裕があまりなく、「元気が一番!」、そう思ったそうです。



どんな子どもでもこれからずっと元気でいられますように。そのために学校保健・健康教育の充実、保護者への理解と啓蒙、あらためてそう感じられたイベントでした。

### 芝生導入効果実態調査

8年前から芝生の校庭  
東京都杉並区立和泉小学校

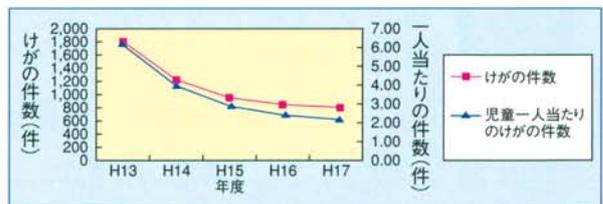
同校から芝生化以前の平成13年と比較した調査データを提供していただきました。

野本厚子校長の話 「平成18~20年は残念ながら全員出席はなくなりましたが、1人、2人の日など、欠席数が年々少なくなっています。芝生効果は子どもの心と体の両面に現れていると考えています」

### 校内での「けが」発生件数

年 度	H13	H14	H15	H16	H17
けがの件数	1,801	1,217	936	837	786
児童一人当たりのけがの件数	6.21	3.99	2.89	2.41	2.15
児童数	290	305	324	348	365

導入前 ← 導入後 →



運動の

素晴らしさを伝えたい

— イベントに参加して —

11月30日、会場となった中野区立武蔵台小学校で私が最初に驚いたのは、芝生の校庭です。私がイメージする学校の校庭は土の校庭なので、芝生ならではの地球にやさしい環境と子どもの足にやさしい校庭だと思い感動しました。

この日は、まず鬼ごっこが始まる前から芝生の校庭を元気に走り回る子どもの姿や、すでに大きな声が校庭で飛び交っていました。そして、鬼ごっこが始まると、その勢いは増し、子どもたちは腰に巻いたフラッグを取られまいと逃げ、私は負けずにフラッグを取りに追いかける。どちらも、譲らない攻防です。私も久しぶりに全力で走り、思いきり遊びました。子どもたちも、必死に逃げながらも、楽しんで身体を動かしていました。どちらかという、疲れを知らない子どもたちより、私の方が疲れていたのかもしれない。

子どもたちが鬼ごっこに夢中になっている間、校庭の中でも輪になってお話をしているお母さんたちの姿がありました。すると、いつの間にか逃げる子どもは、親に助けを貰うようにお母さんたちの周囲をぐるぐる走り私と追いかけて、お母さんたちは「あらあら」と笑顔で子どもを見ていたり、そうかと思うと、まだ走れない小さなお子さんをだっこして、走るお父さんもいて、私は、参加しながら、遊びの中で親子の絆を見ることが出来ました。

私が小学生の頃の学校は隣が山で、朝の運動でよく登ったものです。山の麓には、木で作られたフィールドアスレチック器具があり、校内の児童は授業の

一環として、ここで運動もしました。その時の思い出は、丸太の平行棒などドキドキしながら挑戦したり、友達と一緒に難しいアスレチックをクリアしたりと、ここで経験したことは、体力や精神面、友達との助け合いなどさまざまなことを学んだ気がします。これが後に、健康な身体を作り、今の私があるのだと思います。

また、その頃は、ショートトラックスピードスケート選手として、学校が終わると同時にスケート場に向い、スケートの練習をする日々。目標は「日本一」、夢は「オリンピック出場」と将来を見据えていました。中学2年で、日本一の目標が現実のものになってからは、精神的、肉体的に厳しい日々でしたが、毎日休まず、スケートを続け、夢を持ち続けた結果、オリンピックに3度出場することが出来ました。やはり、一番大切なことは、幼少期の体験。今回のように遊び感覚で運動を楽しむことが、子どもたちにとって良い効果をもたらす長い目で見ると成果が出てくるように思います。



スポーツコメンテーター  
日本ウオーキング協会親善大使  
勅使川原 郁恵

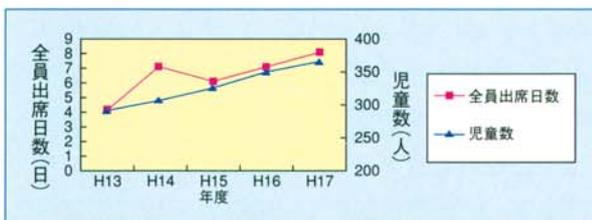
現在、私はスポーツコメンテーターとして活動し、今までの経験を生かし、スポーツの素晴らしさを伝えています。また、日本ウオーキング協会親善大使として、世界や日本全国を歩き、多くの方々と触れ合っています。私たちはこれから先、住みやすい環境をつくるために、未来の子どもたちに何が伝えられるでしょうか？まずは、大人が手本となり、子どもが運動できる環境を作って行きたいと思っています。

だからこそこのような芝生の校庭が増えていくことを願っています。私は、家族一緒に出来る運動として、ウオーキングをこれからも進めていきたいと思えます。

全員出席日数

年度	H13	H14	H15	H16	H17
全員出席日数	4	7	6	7	8
児童数	290	305	324	348	365

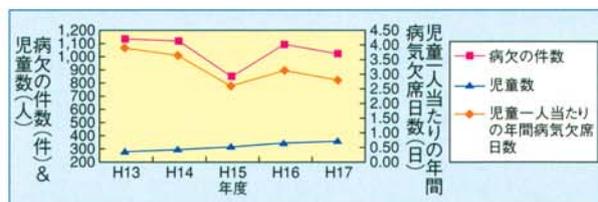
導入前 ← 導入後 →



病欠の件数

年度	H13	H14	H15	H16	H17
病欠の件数	1,125	1,111	841	1,081	1,017
児童数	290	305	324	348	365
児童一人当たりの年間病欠欠席日数	3.88	3.64	2.60	3.11	2.79

導入前 ← 導入後 →



# 若者における 大麻乱用の実態と 予防対策

兵庫教育大学理事・副学長  
教育・社会調査研究センター長

勝野 眞吾

## 一次予防としての学校教育の重要性

大都市圏にあるいくつかの大学で学生の大麻乱用、売買事件が相次いで報道された。

大麻を含む違法薬物の乱用は、現代社会の抱えるもっとも深刻な問題のひとつである。依存性のある薬物の乱用は個人の健康を著しく傷つけるばかりでなく、社会全体にも暗い影響を与える。我が国で、実刑判決を受けた犯罪のうち実にその1/3は薬物乱用が絡むものである。

依存性のある薬物を乱用すると、そこから抜け出すことは困難で、薬物乱用事犯は再犯率が極めて高いのが特徴である。また、薬物乱用者のほとんどは、最初の薬物乱用の経験を青少年期にもっ

ている。従って、薬物乱用に対しては「一次予防」、すなわち危険な薬物に手を染めることそのものを防止することが対策の第一となり、その主な対象は青少年：児童、生徒、学生となる。

「一次予防」の具体的な働きかけの方法は、教育である。「Drug Free」、薬物のないクリーンな社会を築くために世界各国は共通して教育、特に「学校教育」を通じた予防をもっとも重視している。薬物に手を染める危険が高い年齢は学齢期に重なるので、この観点からも学校における薬物乱用防止教育が重要となるのである。

## 大麻の特徴と今回の注目点

今回問題となった大麻は、我が国では大麻取締法で乱用が規制されており、栽培、輸出、輸入した者は、7年以下の懲役、営利目的は10年以下の懲役、所持、譲受、譲渡は、5年以下の懲役、営利目的は7年以下の懲役とされている。

大麻は、大麻樹脂（ハシシュ）、大麻草の花穂や葉の乾燥物（マリファナ）、大麻オイルなどの形態で、主に喫煙により乱用される。大麻は精神依存を引き起こす。乱用に関係する大麻の主成分は、テトラヒドロカンナビノール（ $\Delta^9$ -tetra-hydrocannabinol：THC）である。THCには急性薬理作用としての酩酊作用、空間認知機能障害が特徴的であり、酩酊作用には、気分変容、知覚変容、思考変容等がある。乱用により、大麻精神病と呼ばれる状態に陥ることがあり、急性錯乱状態で発症し、意識変容を伴い、誇大あるいは被害妄想、幻覚、気分変容を呈する。また、慢性使用により、無気力・集中力低下・判断力低下・無為などを特徴とする無動機症候群と呼ばれる状態が惹起される。さらにフラッシュバック現象（自然再燃：ストレス

や睡眠不足などの非特異的刺激によって、以前に乱用によって経験した症状と似た異常体験が一過的に再現すること）やテストステロンなどの性ホルモン分泌に対する影響も報告されている。このように大麻には依存性があり、さまざまな有害な作用があるが、単独で乱用されるだけでなく、アルコールや他の薬物と一緒に乱用されることも多く、その場合は、危険はより複雑になり、著しく有害性が増す。大麻乱用は、別の観点からも危険である。大麻を乱用する者は、その後さらに依存性が高く危険な覚せい剤や麻薬類の乱用を行う確率が高い。そのため大麻はより危険な薬物乱用へ門戸を開く薬物、gateway drugあるいはentry drugと呼ばれ、薬物乱用の連鎖で重要な位置を占める薬物である。

今回のような事件の報道があると、社会の関心が集まり、急に薬物乱用が拡大したように思われるが、最近の調査では、我が国の大麻乱用経験率は中学生では0.5%、高校生では1.0%、大学生を含む18～22歳の若者では1.4%、これは米国の同世代の経験率、それぞれ15.7%、31.8%、42.3%に比べて

極めて低い数字である。我が国は幸いにも世界でも薬物乱用が少ない国なのである。外電(ロイター)が、Marijuana "epidemic" shows Japan's drug allergyと揶揄して伝えるように、大麻乱用が30%を超える欧米から見れば、今回の日本での大麻に関する騒ぎは理解しがたいものようである。しかし、薬物に手を染めること、そのものを防止する一次予防がもっとも本質的な対応策である薬物問題に関しては、我が国の状況が正常である。

我が国で薬物乱用が少ない要因として、学習指導要領に、小学校、中学校、高等学校の各段階で、薬物乱用の危険について指導することが明示され、広く学校で薬物乱用防止教育が行われていること、我が国が薬物問題について厳しい姿勢をとっていることがあげられる。

昨今の、大学における大麻問題で注目すべきは、(1)従来薬物問題があまりなかった「大学」におい

て、次の世代を担う学生の大麻事件が起こったこと、(2)我が国では、覚せい剤と有機溶剤が乱用される主要な薬物であり、このふたつの薬物と乱用頻度は少ないが極めて危険な、あへん、ヘロイン、コカインなどの麻薬類については関心が高かったのに反し、これまで乱用の少なかった大麻についてはあまり注意が及ばず、高等学校までの薬物乱用防止教育でも取扱われることが少なかったこと、従って、大麻乱用の危険性についての社会全体の認識が低く、新しい乱用薬物として大麻が登場したこと、(3)大麻乱用は、それ自体有害であるが、より危険な薬物乱用のgatewayとなること、このため大麻乱用の広がり、より危険な薬物乱用の広がりにつながるリスクが高いこと、(4)小学校、中学校、高等学校と系統的に実施されている薬物乱用防止教育が大学ではほとんど行われていないこと、である。

## 今後の課題

現代社会では、インターネットなどの直接個人に達する新たな情報手段や容易になった海外渡航などによって、学生の諸外国の状況を知る機会が増えるとともに、大麻の危険性についての誤った情報に晒される頻度が増えている。特に自由で開放的な雰囲気の特徴とする場である大学にあって、学生はこれらに敏感に反応する特性をもっている。

今回の大麻問題を教訓として、今後、小学校、中学校、高等学校に加えて、大学においても薬物乱用防止に関する指導を徹底する必要がある。また、薬物乱用の実態把握と予防対策の有効性を検証するための継続したモニタリングも不可欠である。そして信頼できるモニタリング結果をもとに、社会全体に対する啓発を行うことが大切である。

### アレルギー疾患のガイドラインと アトピー性皮膚炎の理解のために

#### 市民公開講座 「よくわかるアトピー性皮膚炎～ 治療の主役はあなたです～」

会場／仙台市(08.10/13)、神戸市(11/23)、名古屋市(12/21)、  
横浜市(09.1/18)

主催／(財)日本学校保健会(名古屋開催共催／愛知県学校保健会)  
後援／文部科学省、厚生労働省、各開催地県・市学校保健会ほか  
協賛／アステラス製薬株式会社



各会場とも第1部は国立成育医療センターの大矢幸弘先生、東京通信病院の江藤隆史先生の専門医による講演、第2部は国立病院機構福岡病院院長の西間三馨先生を座長に開催地の学校医、

養護教諭を交え、「学校におけるアレルギー疾患対策」のシンポジウムを行いました。

第1部の講演では、ステロイド薬の正しい理解、タクロリムス軟膏や保湿剤の併用、日頃のスキンケアや規則正しい生活習慣の必要性など、最新の「標準治療」を紹介、医師の指示に従ってしっかり続けていけば治ることができるという話がありました。第2部では、アレルギー疾患のある子どもたちの学校生活での安全と安心に役立つ話題が展開されました。

学校保健ポータルサイトでは、各会場で上映したビデオを公開しています。外用薬の正しい塗り方、スキンケアの必要性などアトピー性皮膚炎に悩む児童生徒、保護者の方への情報提供や保健指導にお役立てください。(http://gakkohoken.jp)

対 談

# 特別支援教育は 工夫次第

特別であって特別でない、環境の工夫で注意欠陥多動性障害(ADHD)が緩和されたり、学習障害(LD)の子どもの隠された能力の気づきにもなるという。

今とこれからの特別支援教育について、中邑さんには研究者、河原さんには保護者の立場から話をいただいた。

## 現在の学校での特別支援教育について

**中邑** 今の特別支援教育現場の混乱の原因の一つは、どこでも同じやり方でやろうとするのには限界があるということがわかっていないところにあります。ADHDやLDほか特別支援教育が必要な子どもは、読み書きや計算に困難をもっていたり、コミュニケーション上でのトラブルも多く、現場はそれに忙殺されるし、学習が進むにつれ、取り残されているのが実情です。その子に対して、今どうすることが将来的にその子がよりよく生きていくことへつながるのか、そういう発想がほとんどありません。

**河原** 現場の先生方は全体の学力低下問題やら毎日追い立てられているのですが、そんな、現場への専門家といわれている人たちのアドバイスにも首をかしげることがあります。発達障害といっても東大や京大にいく子もいれば、通所施設ですと暮らす子もいる。その実像の幅は広いのですが、そうしたことから、きちんと把握したうえで議論をしているとは思えないふしがあります。正直いって欧米でもそうですが、こうした領域の専門家になろうとする人は、自分もなんらかの認知の偏りがある人が多い。専門家といっても玉石混交ですから、発達障害なんていう新しい言葉が登場する前から、長年様々な子どもたちをみてこられた先生方には、ご自分の目でみていただきたいですね。

**中邑** いまにわかに大騒ぎしていますがADHDにしてもLDにしても昔からありましたが、単純に勉強が出来ない子として農業や工業などの第1次、

中邑 賢龍さん

東京大学先端科学技術研究センター  
人間支援工学分野

教授

河原 ノリエさん

東京大学先端科学技術研究センター  
人間支援工学分野

特任研究員

第2次産業への従事など社会的に生活ができていました。そういう意味で現代社会の環境への不適應を起こしている環境障害ともいえるでしょう。だからこそ、目先のことに汲々するより、記憶力や芸術など優れたところ、得意なものを持っている子どももそうでない子どももそれぞれの持っている能力を使いながら生きていける社会のシステムの再構築が必要です。

**河原** 先日イギリスで聞いた話ですが、「発達障害支援の制度整備は進んでいるが、世間一般は冷たくなっている。IT化の波の中、スピードの速い現代においては厄介者になっている」といっていました。特に今後、数年は世界経済は悪いでしょうから、景気のいいときにはやんわり受容してくれたところも、厄介なものはどんどん切っていくのでしょうか。

**中邑** 確かに社会ではIT化は日々進んでおり、この流れは止められるものではありません。ただ、発達障害の子たちにとっては、ITは、特に相性のいいものであり、欧米の発達障害支援の主流になりつつあります。ITを使用するしないという議論の段階ではなく、その子にとってどういうものをどういう具合に使えば適切なのか、そういうことに関心を持つ学校の先生が増えればと思っています。

## いま、学校で出来る支援の工夫

**中邑** もちろん子どもによってですが、教室の後方の席では集中できなかった子どもが前の席では

勉強に集中できたりする子どもがいます。また、衝立ひとつ立てることで落ち着いたり、周囲の騒音を軽減するノイズキャンセリングヘッドフォンの使用など、ちょっとした工夫で行動が変わる子どもたちがいます。特にこれらの機器は発達障害のある子どものために開発されたのではなく、作業効率を上げるオフィスの建築構造的な工夫などを応用したものです。このように手軽に導入可能工夫はいくつもあり、なによりも従来の皆同じ環境の下で授業を受けるのが当然ということがおかしいという意識を持たなければ特別支援教育は難しいですね。

**河原** 子どもを、昼間学校という空間に預けている親としては、環境設備など建築の専門家から意見を聞きたいですね。オープンスペースの教室などは情報の選択障害のある子にとっては、混乱の引き金でもあります。

**中邑** 情報の選択障害が環境障害と重なっている現状こそが、問題の本質です。設備や人を含めてその人を受け入れる環境かどうかの問題になります。例えば、ITの活用についても真摯に議論が望まれますが、その中では、その子だけに特別なケアは教育上好ましくないという考えを持つ方や、テクノ武装することに抵抗感を持っている方もいます。国もその点のビジョンを示していません。このような前時代的発想と、現状が本当に必要としていることにギャップがあるのです。

**河原** わが子のことですが、クラスで課題を発表する場がありパワーポイントを使ったのですが、スライド表示という情報作業で1枚ずつ自然に自分の中で情報の取捨選択ができていますね。その子に合ったITコンテンツを使えば能力が発揮できるという気づきにもなります。

#### これからの学校での特別支援教育への希望と期待

**中邑** 例えば弱視の子どもがメガネというアイテムを使うことで健常の視力のある子どもと同等に学校で学べるようになるのと同じように、ITや環境の配慮などの工夫によって発達障害児が通常の学校で学べる機会を与えようというのが特別支援教育です。個々の子どもに対してスタートライ

ンに立つ補助をし、独立・自立するために支えるという。けれど、例えば計算に難のある発達障害児が訓練次第である程度できるようになると希望を持つあまり、必死になって教え込む保護者の方もいますが、それはその子どもにとっては苦行でしかありません。治療によって治せるならそれは病気であって、今の医学では治せないから障害なのです。小学校6年生で漢字の書けない子どもがそのまま中学校に上がったけれどついて行けず、かといって、漢字以外は問題がないのですから特別支援学校に行くにはレベルが高い。そういう子どもの中には中学、高校と上がるにつれ、将来に絶望して不登校の増加にもつながっています。社会は頑張れというばかりでなく、その子に出来ることを伸ばし、字が書けなくても生きていけるそんな社会での行き場を見つけてあげなければいけない。

**河原** 発達障害という言葉は人の値踏みに繋がりが好きにはなれず、「ややこしい子」という言い方をすると、面倒な子と思われるのが嫌だともいわれました。でも、そうした人と人とのもつれあった関係を引き受けてこそが教育であり、それに最近ではモンスターペアレントなんていやな言葉が出てきましたが、親自身もともと発達障害のある人が多くて、混乱してしまっているという現状は、教育関係者にはわかっていただきたいですね。

**中邑** 家庭ではちょっとしたテクニックが有効で、片づけを理解させるためにこれは赤や緑のシールをはって、そこに片付けるという工夫をしたり。IT支援でハイテクと思われがちですが、ローテクである意味、時間の流れを遅くして、人間本来の支援に立ち戻ること、それを目指しています。

**河原** 先生にも手伝ってもらって、「恋するように子育てしよう!」という母親の自尊感情を支えるセミナーを全国で開いています。母親の声のトーンや視線によって子どもの反応が違うなど、発達に偏りをもったややこしい子の特性にあったコンテンツ+デリバリーについて伝えていかねばと思っています。結局は、「人」の力なのです。

**中邑** だからこそ人間支援工学なのです。

(東京大学先端科学技術研究センターにて)

## 虎ノ門 (97)

### 大切なあなた、大切なわたし

「お父さんやお母さんは、毎日こんなに大変な思いをして私を育ててくれたんだなあと思って、感謝の気持ちでいっぱいになりました」「親って大変なんだなあと思いました。私にはお母さんがいないので、直接聞くことはできませんが、自分が将来結婚して、子どもを産んだ時に、楽しく話してやりたいと思いました」

これは、思春期講座で、沐浴や妊婦体験、ミルク作り体験をした子どもたちの感想の一部です。沐浴体験の会場となった体育館には、子どもたちの少し照れながらも生き生きとした笑顔が溢れ、沐浴の湯

気と共にふわふわの温かい空気が感じ取れました。

携帯やインターネットなどの機器を通しての関わりが多くなってきている現在、人間の温かいぬくもりを感じる事が少なくなり、子どもたちの感覚にもどこか寂しさを感じます。年間延べ2,500余の保健室来室者、増える保健室登校生徒たちとの関わりの中で、子どもたちを取り巻くさまざまな背景に心痛めることがあります。その背景にあるものを考慮しながら、子どもたちの心に寄り添い、元気になるメッセージを発信していくことを心がけています。

3月、学び舎を巣立っていく子どもたちが、自分(命)を大切に、自ら輝ける道を切り開いて行ってほしいと願っています。(編集委員 米山 典子)

## 編 集 後 記

1月末から全国的な流行の山場を迎えた今シーズンのインフルエンザですが、今号がお手元に届く頃には落ち着いているのでしょうか。インフルエンザは昨今、耐性ウイルスの出現が取沙汰されたり、また、強毒性の新型インフルエンザH5N1型の脅威もメディアを騒がせています。

個人的に面倒なセールスなどを断る言い方として、「考えてみます」とはとても都合がいい言葉です。これが組織としてなにか全国的な施策などを見送る場合、「他所の状況をみてから」というのが同義語ではないでしょうか。

本会では昨秋から国立感染症研究所感染症情報センターと共同で学校欠席者情報収集システムの全国普及を進めています。しかし、実際に使用していただく学

校、教育委員会の多数に「他所の状況を見」られては、それぞれが静観し合うだけで他所の状況どころではありません。

今シーズンのインフルエンザ流行は山を越えてもまた時期になるとやってきます。新型インフルエンザはやがてやってくるといわれています。今号でお話をいただいた岡部先生の言葉です。

「SARSの流行はサーベイランスがしっかりしていない地域から広がりました」

日本でこのようなことがないように願っているのは医師ばかりではないはず。教育者でも感染症が抑えられることがあります。多くの子どもたちが疾病に晒される前に。(編集委員長 内藤 昭三)

### 授業中の居眠り、実は睡眠時無呼吸症候群かも！

#### 本会発行「睡眠時無呼吸症候群について」全国の小・中学校等へ配布

「感情や衝動で乱暴的になる」「学習意欲の低下」等々、そういう児童生徒がいた時、保護者と連絡をとって睡眠呼吸障害かどうか、また、睡眠の大切さへの気づきにつなげ、早期治療や生活改善のため、パンフレット(定価：160円)を作成・発行しました。ご活用ください。

### 募集終了 平成20年度エイズ教育推進ポスターコンクール

全国から多数のご応募、ありがとうございました。審査の上、「小学校版」「中・高等学校版」の採用作品を選定、啓発ポスターに作成して全国の学校へ配布する予定です。

# 笑顔輝け！健康ライブラリー

## 新刊 身につく保健学習・授業のために

- 新学習指導要領に基づく** これからの小学校保健学習
- 新学習指導要領に基づく** これからの中学校保健学習
- 思考力の育成を重視した** これからの高等学校保健学習

- 新しい額指導要領に基づいた内容（小学校版及び中学校版）
- 思考力・判断力等の育成を重視した学習
- 全国調査の結果を踏まえた内容
- 評価に関する最近の成果
- なるほどQ&A、具体的な展開例などでわかりやすく、使いやすい



定価各1,300円、注文方法は今号のチラシ、  
 本会HP「図書・出版物販売」をご覧ください。  
 発行/財団法人日本学校保健会



監修/(社)日本医師会・(財)日本学校保健会  
 推薦/(社)日本小児科医会

寄贈

問合せ/TEL. 0467-23-9188  
 「OTSUKA 続まんがヘルシー文庫」事務局

## OTSUKA漫画ヘルシー文庫が 創刊20周年

し、ちばてつやの両氏はじめ13人の漫画家のみなさんです。お楽しみに。

子どもたちの健康を願って、大塚製薬(株)が毎年、全国の小中学校等に寄贈してきた「OTSUKA漫画ヘルシー文庫」は、「続まんがヘルシー文庫2」で創刊から20周年を迎えます。これを記念した別冊「20年のあゆみ」を添えて、全国の小学校、特別支援校、国公立図書館等へ、3月末に例年通りお届けします。漫画を担当するのは、やなせたか

「探検！わたしたちの体の巻」  
 OTSUKA続まんがヘルシー文庫2

## 「足の健康と靴のしおり」(改訂版)を作成しました。

このしおりは、足のしくみや足に関する疾患、靴の履き方や選び方のほかに実態調査の結果報告も掲載しています。

本会では、このしおりの販売(定価未定)のほかに、全国の小・中・高・特別支援学校に配布しますので、ご活用ください。

### 【目次】

1. 足元から考えよう子ども達の健康づくり
2. 足と靴のトラブルQ&A
3. 靴と足の健康づくり
4. 児童生徒の足に関する実態調査

作成/足の健康に関する調査研究委員会

発行/(財)日本学校保健会

協賛/日本教育シューズ協議会



## これ1冊で 目と視覚についての知識を網羅！

日本アイバンク協会理事長でもある著者が、「見えるとはなにか?」の疑問に答えます。学童、生徒の目を守るためにお役に立ててください。

### 目次より

- 目の特徴 ●遠見視力 ●近見視力 ●視力低下
- 視力に関する要因 ●視野 ●屈折異常 ●老眼の矯正
- 視力障害を起こす主な病気 ●色覚 ●その他 ●

A5判 192頁 定価2,625円(本体2,500円) ISBN978-4-88052-009-4

所教授の  
**眼科**レッスン  
 見える  
 見るとはなにか?  
 Q&A  
 100  
 所敬

東京医科歯科大学名誉教授

# Otsuka Academy 09年前期開催校募集

多くのご参加を  
お待ちしております!!

無料

## 公開スクールセミナー

主催：大塚製薬株式会社 後援(予定)：(財)日本学校保健会 (財)日本体育協会 (財)日本中学校体育連盟 運動と体温の研究会  
2001年のスタート以来、全国の小・中学校約1000校・18万人の方々にセミナーを受講していただき  
ご好評でした。2009年度前期も「外に出て汗をかこう 元気に過ごせる水分補給」と題し、開催校を  
募集いたします。詳しくは差し込みのチラシをご覧ください。(申し込み受け付けは3月～7月末実施は  
4月～9月末までです)



お問合せ先

大塚製薬 アカデミー事務局  
〒102-0075 東京都千代田区三番町24 林三番町ビル4F  
TEL:03-5275-6838  
※お問合せは、土日祝日を除くAM10:00～PM6:00

(財)日本学校保健会推薦

抽選で10校様へ  
ポカリスエット200ml  
ペットボトル1ケースを  
無料進呈します。

学校名、住所、TEL、ご担当者名  
ポカリスエットについてのご意見  
や活用方法を記入の上、左記の事  
務局「ポカリスエットプレゼント係」  
宛てにハガキでご応募ください。



キシリトール ネオ、宇宙へ。

ロッテ・キシリトール ネオは、国際宇宙ステーション  
日本実験棟「きぼう」に持ち込まれました。

むし歯のない社会へ

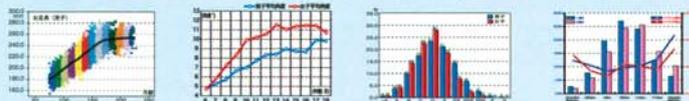
**XYLITOL**

天然由来の甘味料 糖質0% (糖質0%食品)

ガムをかんだ後は歯に染みでくすんでくへ

<http://www.lotte.co.jp>

### 「足計測」の調査結果が発表されます。



(財)日本学校保健会の、「児童生徒の足に  
関する実態調査」に協力し、約10,000人  
の調査・計測を行いました。調査結果は、  
「足の健康と靴のしおり」改訂版に掲載さ  
れます。健康教育等にお役立て下さい。



足と地球の健康を考えよう  
**日本教育シューズ協議会**  
〒101-0032 東京都千代田区岩本町3-3-4  
TEL.03-3862-8684 FAX.03-3862-8632



## トマトの苗木プレゼントのお知らせ



カゴメ株式会社の御協力により、昨年同様トマトの苗木をプレゼントします。小学校を対象に、トマト  
の苗木を育て、収穫して食べてもらい、にがてな野菜を克服するという趣旨で企画しました。

1校につきトマトの苗96本又は48本をお送りします。FAXで、①学校名②担当者名③住所④電話番号⑤FAX  
番号⑥希望苗数(96本又は48本)をご記入の上、下記までお申込みください。各校へのお届けは、4月中旬  
から5月中旬の予定です。数に限りがありますので、お申込み多数の場合は先着順とさせていただきます。  
当選校には、折り返し事務局よりFAXにてお届け日をお知らせします。

F A X : 03-5148-2157 カゴメ「トマト苗プレゼント」学校保健係  
お問合せ : 0120-047-831 (受付9:30~17:00 土・日・祝日を除く)